

実践記録の記入例

(研修形式別)



日本薬剤師会生涯学習支援システムJPALS

実践記録の記入例

- ◆研修形式が【研修会】の場合、
会の目的、プログラム、演題、演者名などは、
「研修内容」欄に入力しましょう。
- ◆研修形式が【自己学習（e-ラーニングなど）】の場合、
要旨、参照した資料名、書籍名などは、
「学習内容」欄に入力しましょう。

日本薬剤師会へ提出する実践記録作成のポイント

- 日本薬剤師会へ提出される実践記録は、当該年度のWebテストの受験資格を有するかどうかの判定材料となる。
- JPALSは、薬剤師としての幅広い学習の記録(実践記録)を継続して蓄積し、振り返り等を行うことで自己研鑽を進めることを目的とする仕組みである。
- 実践記録の提出数をクリアするために、同一の学習材料で複数の実践記録を作成し提出するなど、本来の目的から逸脱している事例が見受けられる。
- 提出された実践記録の記載が不十分な場合、当該年度のWebテストの受験が認められないことがある。

 日本薬剤師会生涯学習支援システムJPALS

日本薬剤師会へ提出する実践記録作成のポイント

—より良い実践記録を書くために—

「JPALS認定薬剤師制度」は、薬剤師認定制度認証機構の認証[®]を受けており
レベル5以上の方は「JPALS認定薬剤師」として認定されます。
※認証番号：G25(2018年2月)

認定制度への移行に伴い、日本薬剤師会へ提出される実践記録は、当該年度のWebテストの受験資格を有するかどうかの判定材料となりました。

JPALSは、薬剤師としての幅広い学習の記録(実践記録)を継続して蓄積し、振り返り等を行うことで自己研鑽を進めることを目的とする仕組みです。
しかしながら、クリニカルラダーレベルの昇格の要件である実践記録の提出数をクリアするために、同一の学習材料で複数の実践記録を作成し提出するなど、本来の目的から逸脱している事例が見受けられます。

提出された実践記録の記載が不十分な場合、当該年度のWebテストの受験が認められないことがあります。

日本薬剤師会へ提出する実践記録がより良いものとなるよう、記載内容、方法についてお守りいただきたいことを整理しました。

4ページ目以降には、実践記録を提出されたご本人の同意を得た上、参考となるその実例を掲載していますのでご活用下さい。

2019年10月1日改訂
2021年11月16日改訂

<https://www.jpals.jp/pdf/Pointscreatingpracticerecord.pdf>

日本薬剤師会へ提出する実践記録の作成にあたり、留意いただきたいこと

(「自分用」に保存される実践記録については、この限りではありません)

① 実践記録に対する学習の目安

- ・ 実践記録1本に対する学習の目安は、「1つの研修会テーマ」、「1つの講演」、「1つの分科会」、「1つの論文」、「1つのコンテンツ」等とする。

② 実践記録は自分の言葉で

- ・ 「この研修のまとめ」の欄は、自分が学んだこと、考えたことなどを、自分の言葉で200文字以上で入力する。

③ 学習材料、参考資料の明記(特に自己学習)

- ・ 学習材料や参考資料を明記する。特に自己学習の場合、書籍名・著者名、eラーニングの概要(提供元・コンテンツ名・講師名等)等を「学習内容」の欄に必ず記載する。

④ その他(確認事項)

- ・ 業務記録、日誌や会議記録は提出しない(学習の記録に該当しないため)。
- ・ 個人情報や守秘義務のある内容は記載しない。
- ・ 学習内容とその記録のタイトル・課題名が合っているか確認する。
- ・ できるだけ学習日から時間を置かずに記録する。

実践記録の記入例【研修会の場合】

【研修会】の場合

研修会の目的、プログラム、演題、演者名などは、「研修内容」欄に入力する。

計画	計画を選択 研修会 JPALS研修会コードが設定されている場合は、『研修会』を選択してください。 情報が自動入力された後に、他の研修形式に修正できます。
研修形式※【必須項目】	☒ 研修会 ☐ JPALS研修会コード※【必須項目】 ☐ 利用しない ☐ 利用する
研修会課題名(タイトル)※【必須項目】	〇〇県薬剤師会スポーツファーマシスト研修会
学習時間	2 時間 00 分
受講年月日※【必須項目】	2018 年 06 月
場所※【必須項目】	■県薬業センター ●●会議室
研修会主催者※【必須項目】	〇〇県薬剤師会
研修内容 (演題・演者など)※【必須項目】	スポーツと栄養 管理栄養師 ■■■■先生 ・プログラム ・演題、演者名 などの概要は、この欄に入 きましょう
エディタ明 ☐ ON ☒ OFF この研修のまとめ(自分が学んだこと、自ら考えたことなどを自分の言葉で入力)※【必須項目】 日本薬剤師会提出は200文字以上 入力文字数: 0文字	研修会の記録 ・参加者 50名くらい ・講師は、スポーツ選手、小中高生などへの栄養指導の経験が豊富 理解したこと(ポイントのみ) ・栄養の考え方(昔習ったことと異なる) ・炭水化物は糖質と食物繊維。芋は糖質ではなく食物繊維 ・菓子・アルコールは取り過ぎた分を他に置き換えることはできない。 摂取してよいが、1日あたりの量に気をつける。 ・必要な蛋白質と実際の食材の量 理解不十分な点 ・運動量を把握する方法(摂取カロリーに大きく影響する) 感想 栄養を踏まえた具体的なアドバイスができるようになると、スポー 「この研修のまとめ」欄には、この研修から自分が学んだこと、考えたことなどを自分の言葉で入力しましょう。 本実践記録を日本薬剤師会へ提出する場合、文献等からのコピー＆ペーストで構成されていると発覚した場合、提出本数のカウント1本と認めません。

※eラーニング受講の場合

現在は「自己学習」を選択いただいておりますが、
制度改正後のタイミングに合わせて、「eラーニング」
を選択いただけるようにシステム改修予定です。

【自己学習】の場合

要旨、参照した資料名、書籍名などは、「学習内容」欄
に入力する。

実践記録の記入例【自己学習の場合】

計画	計画を選択 自己学習 JPALS研修会コードが設定されている場合は、『研修会』を選択してください。 情報が自動入力されました。
研修形式※【必須項目】	
テーマ(タイトル)※【必須項目】	研究論文と薬剤師
学習時間	1 時間 30 分
学習日	2018 年 06 月 12 日 ~
研修可能※【必須項目】	----
場所	自宅
学習方法 (通信教育、eラーニング、読書等)	eラーニング
学習内容※【必須項目】	JPALSe-ラーニングシステム 「研究論文と薬剤師 臨床研究の準備と実施」 講師:〇〇大学薬学部 〇〇〇〇 内容:最近、薬剤師が学会等の場で研究発表を行うことが多くなりましたが、その中には、個人情報の取り扱いに問題があるものや、倫理的な対応が事前に計画されていないものも見受けられます…… 学習目的:学術大会での発表に向けて、事前準備のために受講した。 学んだこと: ・研究計画書の書き方、記載すべき項目 ・結果のまとめ方をイメージしながら研究計画書を書く、研究がスムーズに進む(発表・論文化にも書いたことが役立つ)。 ・臨床研究そのものだけでなく、倫理審査にも時間がかかる場合があるので、研究計画書はかなり前から準備しておく。 課題:・身近に相談できる経験者がいないので、…… この研修のまとめ(自分が学んだこと、自ら考えたことなどを自分の言葉で入力)※【必須項目】 日本薬剤師会提出は200文字以上 入力文字数: 245 学習内容で実践活用が出来そうな例 学習が実践活用出来た内容【自由記載】

・時間もしっかり入力しましょう
・数字は半角で入力が必要です

参照した資料名をきちんと記録しておくことが重要です。この欄には、学習材料とした資料(書籍)名、著者名やeラーニングの提供元、コンテンツ名及びその内容等を必ず明記しましょう。

「この研修のまとめ」欄には、この研修から自分が学んだこと、考えたことなどを自分の言葉で入力しましょう。
本実践記録を日本薬剤師会へ提出する場合、文献等からのコピー＆ペーストで構成されていると発覚した場合、提出本数のカウント1本と認めません。

学術大会での発表に向けて、学んだことを生かして準備を行いたい
そのためには……

この欄が記載必須となります

実践記録の記入例【学会参加の場合】

計画	計画を選択
研修形式※【必須項目】	学術大会・学会 JPALS研修会コードが設定されている場合は、『研修会』を選択してください。 情報が自動入力された後に、他の研修形式に修正できます。
学会名称(タリム)※【必須項目】	第〇回〇〇学会[1日目] シンポジウム1サルコペニア・フレイルと...
学習時間	1 時間 30 分
学習日 登録日可能※【必須項目】	2018 年 06 月 --- 年 -- 月 --
会場※【必須項目】	〇〇県 ■■■会議場 第1会場
学会主催者※【必須項目】	〇〇学会
学会の概要 (学会・分科会・シンポジウムの概要や、演題・演者名を明記すること) ※【必須項目】	超高齢社会を生きる 〇〇〇〇先生(〇〇〇〇) リハビリテーション科、リハビリテーション科、リハビリテーション科のフレイル・サルコペニアの予防と治療 ■■■先生(■■■)大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科 ほか
エディタリム ON OFF	高齢者が抱えるサルコペニアとフレイルの問題について、薬剤師としての関わり方を学習した。筋力の低下は寿命に影響するが、疾患を複数有することは寿命に影響しないという疫学調査結果は印象的であった。 薬物療法を受ける高齢患者に対しては、筋力の低下を招かないような食事と運動を具体的にアドバイスすることが重要であると考えた。 フレイル・サルコペニアの対策だけでなく、低下原因としての薬剤とその対策について、さらに理解を深める必要がある。 例えは 「この研修のまとめ」欄には、この研修から自分が学んだこと、考えたことなどを自分の言葉で入力しましょう。 本実践記録を日本薬剤師会へ提出する場合、分科会の概要や講演要旨等からのコピー＆ペーストで構成されていると発覚した場合、提出本数のカウント1本と認めません。
この研修のまとめ(自分が学んだこと、自ら考えたことなどを自分の言葉で入力)※【必須項目】 日本薬剤師会提出は200文字以上 入力文字数: 0文字	
学習内容で実践活用が出来そうな例 学習が実践活用出来た内容【自由記述】	

【学術大会・学会】の場合

学術大会・学会の目的、プログラム、演題、演者名などは、「学会の概要」欄に入力する。

この欄が記載必須となります

参考となる実践記録の実例[研修会①]

JPALS利用者ご本人の同意を得て、実際の実践記録を掲載しています。緑の吹き出しは、参考として本会で記載したものです。

計画	計画を選択
研修形式※【必須項目】	研修会 JPALS研修会コードが設定されている場合は、『研修会』を選択してください。 情報が自動入力された後に、他の研修形式に修正できます
JPALS研修会コード※【必須項目】	☒ 利用しない ☐ 利用する
研修会課題名(タイトル)※【必須項目】	セミナー
学習時間	3 時間 30 分
受講年月日※【必須項目】	2019 年 10 月 03 日 ~ 2019 年 10 月 03 日
場所※【必須項目】	プラザ 講演の場合、演題名及び講師の所属や氏名等も記録しておくようにしましょう。
研修会主催者※【必須項目】	製薬株式会社
研修内容 (詳細・実習も含む必ず明記すること) ※【必須項目】	病院における感染対策の実践 地域における感染ネットワークの意義 AMR時代における感染症の現状と感染対策の重要性
エディタ利用 ON OFF	ON
この研修のよめ (自分が学んだこと、考えたことなどを自分の言葉で入力) ※【必須項目】	講演II 病院における感染対策の実践 感染対策は感染予防を全ての患者・汚染部位の処置法(スポンジの分)
日本薬剤師会提出は200文字以上 入力文字数:0文字	講演III AMR時代における感染症の現状と感染対策の重要性 AMR時代における感染症の現状と感染対策の重要性
本実践記録を日本薬剤師会へ提出する場合、文 献等からのコピー・ペーストのみで構成されて いると判定したものは、提出本数のカウント1本と 認めません。	AMR時代における感染症の現状と感染対策の重要性
学習内容で実習活用が出来そうなの 学習が実習活用出来た内容【自由記載】	感染管理ネットワークを活用して行く
⇒ ※【必須項目】	
学習目標達成できなかった項目 今後の学習が必要な項目【自由記載】	抗菌薬の適正使用をもっと詳しく。

参考となる実践記録の実例[研修会②]

JPALS利用者ご本人の同意を得て、実際の実践記録を掲載しています。緑の吹き出しは、参考として本会で記載したものです。

計画	計画を選択
研修形式※【必須項目】	研修会 JPALS研修会コードが設定されている場合は、『研修会』を選択してください。 情報が自動入力された後に、他の研修形式に修正できます
JPALS研修会コード※【必須項目】	☒ 利用しない ☐ 利用する
研修会課題名(タイトル)※【必須項目】	学術講座
学習時間	1 時間 25 分
受講年月日※【必須項目】	2019 年 10 月 03 日 ~ 2019 年 10 月 03 日
場所※【必須項目】	会議室
研修会主催者※【必須項目】	薬剤師会
研修内容 (詳細・実習も含む必ず明記すること) ※【必須項目】	「外用薬は剤型と外用指導が重要」 大学病院
エディタ利用 ON OFF	OFF
この研修のよめ (自分が学んだこと、考えたことなどを自分の言葉で入力) ※【必須項目】	保湿の大切さ 湿疹になる前に皮膚欠乏症を治す。バリア機能を整える。そのためには、正しい用法用量で保湿剤を塗布することが肝要。多くの人は塗布する量が足りないため、薬剤選択が正しくても十分な効果が得られないことがある。尿素入りの保湿剤は刺激があることが多いため、ヒルドイドなど、尿素が入っていないものを推奨していた。
日本薬剤師会提出は200文字以上 入力文字数:0文字	ステロイドは、皮疹の程度にあったものを適正量つかう。早く痒みをとることによ り、早めにより、使用量も少なくなる。結果として副作用を回避できる。
本実践記録を日本薬剤師会へ提出する場合、文 献等からのコピー・ペーストのみで構成されて いると判定したものは、提出本数のカウント1本と 認めません。	刺激性があるものは保湿剤を塗布してから塗布する。狭い範囲からはじめ、徐々に範囲を拡大していく。患者様にもよく説明することが大切。
学習内容で実習活用が出来そうなの 学習が実習活用出来た内容【自由記載】	軟膏の用法用量を正しく伝える。在宅でも、患者に塗布するときは、気をつける。
⇒ ※【必須項目】	
学習目標達成できなかった項目 今後の学習が必要な項目【自由記載】	背中など塗りにくいところに正確に塗布するにはどうすればいいか、、、質問すればよかったと後悔。

計画	計畫を選択	研究会 JPALS研究会コードが設定されている場合は、[研究会]を選択してください。 情報が入力された後に、他の研形式に修正できます。
研形式 ※【必須項目】		☒ 利用しない ☐ 使用する
JPALS研会コード ※【必須項目】		
研会議議名(タイトル) ※【必須項目】	Parkinson病 診療Up Date	Parkinson病患者の病態について、使用薬物との関連性を踏まえて記載されています。日常生活の注意点も記載されていますなど、患者指導のために活用できる実践記録となっています。(表示範囲に収まらないため、後半は割愛しています)
学習時間	1 時限 30 分	
受講年月日 ※【必須項目】	2019 年 10 月 03 日 ~ --- ヶ --- 月 --- 日 ~ --- ヶ --- 月 --- 日	
場所 ※【必須項目】	医療センター	
研会主催者 ※【必須項目】	医師会 ● 薬剤師会	
研室内 (漢字・英文字のみ必ず指定すること)	※【必須項目】	
Parkinson病について最近の話題を基に、● 医療センターでの治療についての講演 ● 医療センター 脳神経内科 医長 ● の発表		
エディタ利用 ☒ ON ☐ OFF		
この研究のよめ 「自分学んだこと、考えたことを自分の言葉で記入」 ※【必須項目】		
日本語入力支援ソフト300文字以上 日本文化言語：0文字		
本実証記録を日本製剤学会へ提出する場合、文部省からの「コードページ2012-JE」のみで作成していただき、提出されるものは、提出先数カウント上とは認めません。		
学習内容で実習活用が出来そうなし	- Parkinson病者の日常生活へのアドバイスが出来そう	
学習が実習活用に出来た内容【自由記述】		
⇒ ※ 【必須項目】		
学習目標達成できなかった項目 今後の学習が必要な項目【自由記述】	● 服併用療法が多く行われているが、症状ごとにどのように薬剤を使い分けられているのか、事例検討が無かったので治療のイメージがつかえなかった。 - 今後必要な学習項目：症例検討	

毎年1月10日までは実践記録の修正が可能

- 提出できる本数に制限なし。ケアレスミスで提出本数不足にならないよう、できるだけ多くの実践記録を提出するよう心がける。
- 「**実践活用が出来そうな例、活用できた内容**」が必須項目となる。
- 必須ではない項目「目標達成できなかった項目、今後学習が必要な項目」にもできるだけ入力する。

【「記載不十分」な実践記録（例示）】

- 1つの論文から複数の実践記録を提出している。
- 業務日誌を提出している。
- 学習により自ら考えたことの記録がない。
- 書籍やインターネットサイト等からのコピー&ペーストのみで構成されている。
- 書籍から学習した内容を記載したにも関わらず、『学習内容』欄に参照した書籍名、著者名等が未記載で、自身の知見のみを記述している。

JPALSの理念

「薬剤師の生涯学習を支援すること」